

第11回新居浜市今後の学校の在り方に関する検討委員会概要

日時 令和2年7月22日（水）10:00～11:30
会場 新居浜市役所 2階 21会議室
出席者 小笠原忠彦委員外11人、事務局職員7人
傍聴者 なし

1 教育委員会事務局長挨拶

本委員会については、前回、1月の開催以降、新型コロナウイルスの関係もあり、間が空いた状態になっておりました。小・中学校の適正規模・適正配置について、引き続き御意見を賜り、将来に向けての方向性をまとめていければと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

2 副委員長の選出

委員の互選により秋月恭子委員（新居浜市PTA連合会会長）に決定

3 小・中学校の適正規模・適正配置に関する検討経過について

第7回から第10回委員会における検討内容について確認

4 小・中学校の適正規模・適正配置について

(1) 今後の検討事項について

○次の事項について検討していくことを決定

- ①将来に向けた全体スケジュールについて
- ②望ましい学校規模（学級数、学級の児童生徒数）について
- ③規模適正化の検討基準について
- ④地区ごとの小・中学校の規模適正化・適正配置の方向性について
- ⑤規模適正化・適正配置の検討に当たって留意すべき事項について

(2) 検討スケジュールについて

○本年度4回検討委員会を開催し、今年度中に検討事項をまとめることを決定

(3) 将来に向けた全体スケジュールについて

○校舎の更新時期も勘案して規模適正化・適正配置の計画策定を行い、順次実施していくというスケジュールを念頭に、小・中学校の適正規模・適正配置の方向性を考えていくことを決定

(4) 望ましい学校規模（学級数、学級の児童生徒数）について

○望ましい学級数、学級の児童生徒数については次のとおりとするが、今後の検討委員会での検討の中で修正点があれば修正していくことに決定

- ①望ましい学級の児童生徒数

- ・小学校 1学級30人程度
- ・中学校 1学級30人程度
(理由) 教員の負担や児童生徒間のコミュニケーション、教員と保護者との情報交換や教員によるテストの評価等

②望ましい学級数

- ・小学校 1学年2学級以上
(理由) 複式学級にならず、児童生徒の成長に必要とされるクラス替えができる
- ・中学校 1学年4学級以上
(理由) 免許外指導が解消され、専門の教員を配置できる

<意見>

- 専門でない教員が教える場合、教員も負担となり、何より子どもに質の高い教育が難しくなるので、免許外指導を解消することは、教員、子ども両方にとっていいことであると思う。
- 小学校の英語と道徳の教科化や専科制も考慮に入れていければよいと思う。
- 中学校について、教員が多い方が質のいい教育ができるというのはわかるが、統合により通学時間や通学距離が今までより長くなると、事故の確率や帰りに寄り道する所も増えるので、確実にいい教育が受けれるのか疑問を感じる。
- 国の流れ、社会の流れからしても小さい学級、小さい学校ということが今後の目指す方向になりつつある。その中でどういうふうにしていくかという発想が必要。
- 国の考え方が変わってくる可能性がある中で、いつまでに結論を出すかによって、条件が変わってくる。年度内に一定の方向性を出すのであれば現状の条件で判断せざるを得ないと思う。
- 1学級30名はすごく魅力的でいいと思うが、そのためには教員の加配等の問題がある。
- 規模適正化に当たっては、最終的には地域との関係を検討しなければならない。
- 規模適正化に当たっては、少しずつ統廃合するのではなく、10年後、20年後に例えば川西地区に1校、川東地区に1校、上部地区に1校ないし2校の理想の学校をつくって、地区全体で一緒になり大規模な校区としていくということも考えてはどうか。

【新型コロナウイルス感染症対策、GIGAスクール構想の推進の観点からの検討】

- 学校現場で子どもの数が多い場合、3密回避は難しい。1学級の人数が減ると対応がしやすい。
- 少人数の学校では分散登校時も、その必要はなくそのまま教室を使うことができ、少人数ならではの良さが出た。
- 今後、国において30人学級の検討が進められていくことと、本委員会で検討している望ましい児童生徒数30人というのは合致するのでいいと思う。
- 学校は教室で先生と子どもがいろんな話をするのが本来の姿であり、遠隔授業を進

めていくのがいいのかは疑問である。

○G I G Aスクール構想については、本来の教育の意義を考慮しながら進めていく必要がある。

(5) 規模適正化の検討基準について

○規模適正化を検討する学校規模については、具体的に地区ごとの学校の状況も見ながら検討していくことに決定。

○規模適正化の実施順位の考え方については、次のとおり決定

・教育指導上の観点

<実施順位> ①複式学級の発生 ②学校規模の小さい順

・学校施設上の観点

<実施順位> 施設老朽化による更新（建替）必要性の高い順